

伊集院保健所感染症情報

2025年第50週（令和7年12月8日～令和7年12月14日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ，咽頭結膜熱，伝染性紅斑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

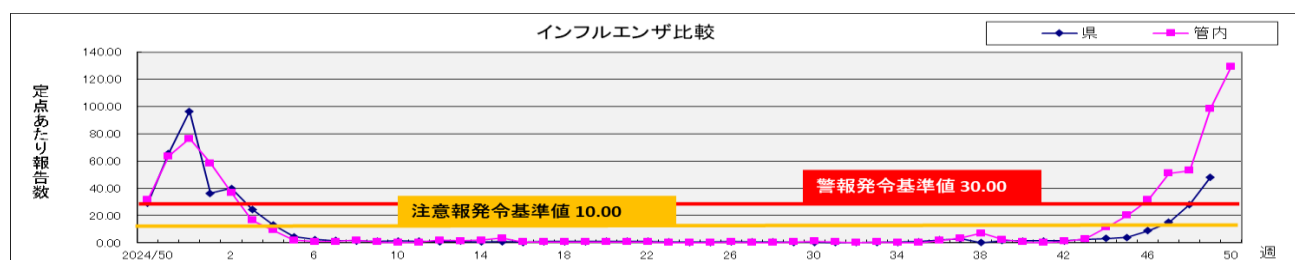
定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		第47週	第48週	第49週	第50週	先週からの増減	第49週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	249.50	160.00	180.00	239.00	↗	99.39	↗
インフルエンザ	30	10	10	51.00	53.00	98.50	129.50	↗	48.12	↗
COVID-19	—	—	—	0.50	1.00	0.00	0.00	→	0.49	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	3.00	3.00	1.00	↘	0.90	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	15.00	11.00	10.00	6.00	↘	2.77	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	2.00	0.00	0.00	→	3.84	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.19	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.23	↗
伝染性紅斑	2	1	—	2.00	2.00	5.00	1.00	↘	3.52	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	1.00	0.00	2.00	0.00	↘	0.77	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）



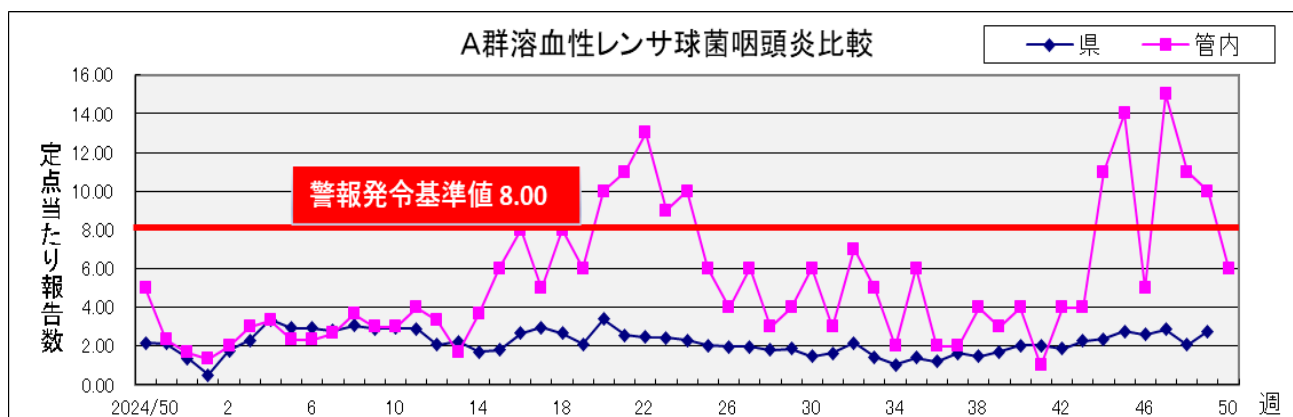
第50週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、49週の197人（定点当たり98.50）から62人多い、259人（定点当たり129.50）です。

年齢別の報告では、10～14歳（60人）、5歳（30人）、4歳（28人）、8歳（22人）、3歳（21人）、6歳（19人）、7歳（15人）、1歳・9歳（各13人）、15～19歳（10人）、2歳（9人）、70～79歳以上（5人）、6ヵ月～11ヵ月（4人）、80歳以上（3人）、20～29歳・50～59歳・60～69歳（各2人）、40～49歳（1人）でした。

感染症予防の
ポイント

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い
- ③ 適度な湿度の保持
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 人混みや繁華街への外出を控える

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



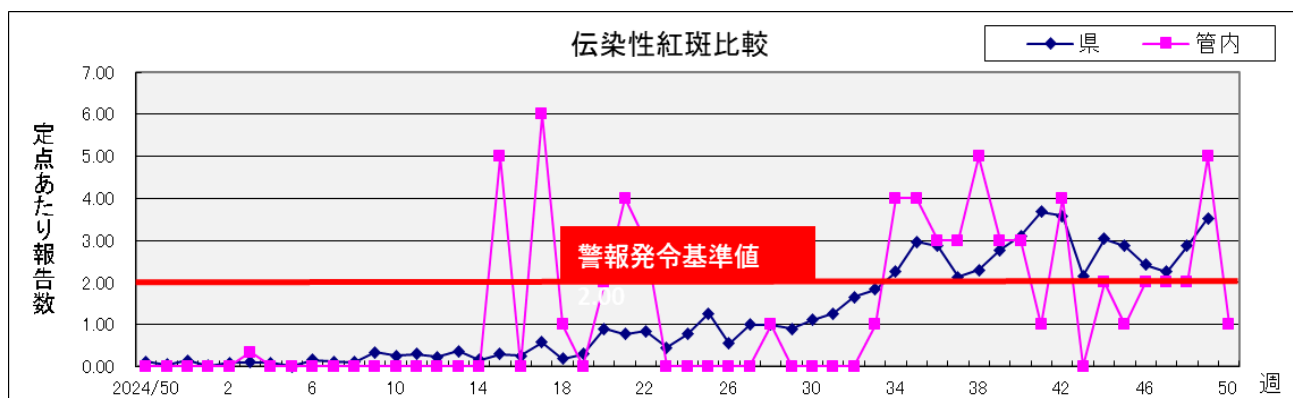
第50週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、6人でした。年齢別では、3歳（2人）、1歳・7歳・9歳・10～14歳（各1人）でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第50週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、7歳（1人）でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう

○学校における感染症による出席停止の状況 12/8～12/14（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが265人（型不明238人、A型26人、B型1名）、流行性角結膜炎が1人、感染性胃腸炎が2人、溶連菌感染症が2人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	流行性角 結膜炎	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症
日置市	208	14	0	1	1	0
いちき串木野市	30	12	1	0	1	2
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	238	26	1	1	2	2